

B-51 織物のミシン縫いに関する基礎的研究 (第2報)

縫糸短縮率とパッカー率との関係

梶山女大家政 田中 宏
○名倉 光雄

前報において綿ブロードのミシン縫いにおける良い縫目について、ミシン糸の種類と上糸・下糸の調子との関係を報告したので、今回はWW性の基礎的資料を得ることを目的として、同じ試料について計算と考察をした。

ミシン糸はカタン糸・ロウ引カタン糸・絹糸・テロン糸、ミシン針は14番、家庭用電動ミシンで560回転、押え圧力約2.7kg、送り金はアップで6目、糸調子は上糸調子と下糸調子がそれぞれ強・中・弱の9段階で組合せる。洗たく前の縫縮率をパッカー率として、洗たくによる縫道収縮率と布のみの収縮率との差を洗たくによるパッカー率とする。無緊張縫目の縫目模型図から基本縫糸長を計算し、実測縫糸長との差の基本縫糸長に対する百分率を縫糸短縮率とする。これと洗たく前後のパッカー率、糸張力、上糸下糸の糸長比、糸調子などの関係を検討した。

ミシン縫いの糸調子と縫糸短縮率との間、および縫糸短縮率とパッカー率との間には、強い正相関がある。同じ糸調子においても、ミシン糸の種類によって短縮率が異なり、同じ短縮率においても、糸の種類によって洗たくによるパッカー率が著しく異なる。糸調子とパッカー率との関係は、ミシン糸の種類によって大差ないが、糸調子と洗たくによるパッカー率との関係は、糸の種類によって著しく異なる傾向とパッカー値を示す。